



栗田工業株式会社

2020年3月期 第1四半期 決算説明会

(証券コード：6370)

2019年8月14日

IFRSの任意適用

2020年3月期第1四半期より、IFRSに基づき開示しています。
前年同期の数値についても、同基準に従い組替表示しています。

事業利益

事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。
財務諸表上で定義されている科目ではありませんが、過去の日本基準の営業利益との比較に有用と判断し、
任意開示資料上でのみ開示しています。

-
- 1** | 2020年3月期 第1四半期実績 p 1 - 8
 - 2** | 2020年3月期 見通しの一部修正 p 9 -11

1 | 2020年3月期 第1四半期実績

(単位：億円)		2018/6期	2019/6期	前年同期比
受	注 高	705	727	+ 3.2%
売	上 高	623	643	+ 3.3%
事	業 利 益	45	56	+ 24.4%
そ の 他 の 収 支		△ 29	46	—
営	業 利 益	16	102	+ 528.9%
税 引 前 四 半 期 利 益		19	104	+ 447.5%
親 会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 四 半 期 利 益		15	73	+ 396.7%
1 株 当 たり 四 半 期 利 益 (円)		13.04	64.71	+ 396.2%
為 替 レ ー ト	USD (円)	109.07	109.90	
	EUR (円)	130.06	123.49	
	CNY (円)	17.13	16.07	

- 当四半期から、U.S.ウォーター社とアビスタ社の新規連結影響を含む。
- その他の収支には、前年同期に欧州のアルミナ化合物事業の譲渡損失を、当四半期に超純水供給事業用資産の売却益を含む。

セグメント別の実績

(単位：億円)		2018/6期	2019/6期	前年同期比
全社	受注高	705	727	+ 22
	売上高	623	643	+ 20
	事業利益	45	56	+ 11
	事業利益率	7.3%	8.7%	
	営業利益	16	102	+ 86
水処理薬品事業	受注高	269	289	+ 21
	売上高	254	280	+ 26
	事業利益	25	26	+ 0
	事業利益率	9.9%	9.1%	
	営業利益	△ 5	24	+ 29
水処理装置事業	受注高	436	438	+ 2
	売上高	368	363	△ 6
	事業利益	21	31	+ 10
	事業利益率	5.7%	8.7%	
	営業利益	22	79	+ 57

- 水処理薬品事業は、受注高・売上高がU.S.ウォーター社とアビスタ社の新規連結により増加したが、事業利益は販管費の増加により横ばい。
- 水処理薬品事業の営業利益は、前年同期に欧州アルミナ化合物事業の譲渡損失の計上があったことから、大幅に改善。
- 水処理装置事業の事業利益は、追加原価の減少や減価償却費の減少による原価率の改善により、増益。
- 水処理装置事業の営業利益は、超純水供給事業用資産の売却益の計上により、大幅に増加。

(単位：億円)	2018/6期	2019/6期	前年同期比
受注高	269	289	+ 21
国内	121	123	+ 2
海外	148	167	+ 19
売上高	254	280	+ 26
国内	108	112	+ 4
海外	146	168	+ 22
事業利益	25	26	+ 0
事業利益率	9.9%	9.1%	
営業利益	△ 5	24	+ 29

- 国内の受注高・売上高は、鉄鋼向けプロセス薬品やボイラ薬品、冷却水薬品が増加。
- 海外の受注高・売上高は、前年同期に実施した欧州のアルミナ化合物事業売却による減少があったものの、U.S.ウォーター社とアビスタ社の新規連結により増加。
- 事業利益率は、新規連結の影響を除くと、ほぼ横ばい。

海外地域別売上高

(単位：億円)	2018/6期	2019/6期	前年同期比
アジア	72	66	△ 6
北米	12	48	+ 36
EMEA	55	48	△ 7
その他	7	6	△ 0
合計	146	168	+ 22

水処理装置事業（国内電子産業向け）

（単位：億円）	2018/6期	2019/6期	前年同期比
受注高	176	141	△ 35
装置	44	2	△ 42
メンテナンス	50	61	+ 10
超純水供給事業	64	62	△ 3
精密洗浄	17	16	△ 1
売上高	130	141	+ 10
装置	14	26	+ 12
メンテナンス	35	36	+ 1
超純水供給事業	64	62	△ 3
精密洗浄	17	16	△ 1

- 装置は、受注高が前年同期の大型案件受注の反動で減少するも、売上高は前期受注案件の工事進捗により増加。
- メンテナンスは、顧客設備の増強・補修需要の増加により、受注高・売上高ともに、高水準を維持。
- 超純水供給事業は、前期後半に一部契約が満期を迎え再契約となった影響により、受注高・売上高ともに減少。

水処理装置事業（国内一般産業向け）

（単位：億円）	2018/6期	2019/6期	前年同期比
受注高	194	214	+ 20
エネルギー・インフラ	163	165	+ 1
土壌浄化	24	42	+ 18
その他	7	7	+ 0
売上高	117	125	+ 8
エネルギー・インフラ	89	101	+ 12
土壌浄化	22	18	△ 4
その他	7	7	+ 0

- エネルギー・インフラの受注高は、メンテナンスで減少した一方で、電力向け装置で増加したことから、全体ではほぼ横ばい。
- エネルギー・インフラの売上高は、電力向け装置の受注残からの工事進捗や、化学洗浄事業の伸長により増加。
- 土壌浄化は、大型案件の受注により受注高が増加。売上高は、前年同期に大型案件の売上計上があった反動で減少。

水処理装置事業（海外）

（単位：億円）	2018/6期	2019/6期	前年同期比
受注高	66	83	+ 17
装置	33	54	+ 21
メンテナンス	25	21	△ 4
超純水供給事業	8	8	△ 0
売上高	120	97	△ 24
装置	99	70	△ 29
メンテナンス	14	19	+ 5
超純水供給事業	8	8	△ 0

- 装置の受注高は、U.S.ウォーター社の新規連結影響や韓国向けの受注増により、増加。
- 装置の売上高は、U.S.ウォーター社の新規連結影響はあったものの、中国・韓国向けが、前年同期に大型案件の売上計上があった反動で減少。

地域別売上高

（単位：億円）	2018/6期	2019/6期	前年同期比
アジア	118	78	△ 41
北米他	2	19	+ 17
合計	120	97	△ 24

サービス事業売上高内訳

(単位：億円)	2018/6期	2019/6期	前年同期比
水処理薬品事業	254	280	+ 26
水処理装置事業	242	247	+ 5
超純水供給事業	72	69	△ 3
精密洗浄	17	16	△ 1
土壌浄化	22	18	△ 4
国内メンテナンス	112	119	+ 7
海外メンテナンス	14	19	+ 5
その他	5	6	+ 0
合計	497	527	+ 31

- 水処理薬品事業へのU.S.ウォーター社とアビスタ社の新規連結もあり、サービス事業の構成比が向上。
- 国内メンテナンスは、化学洗浄や官公需メンテナンスが増加。

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2018/6期	2019/6期
設備投資額（有形）	61	98
超純水供給事業	45	67
上記以外	16	32
減価償却費（有形）	37	33
水処理薬品事業	5	9
水処理装置事業	32	24
研究開発費	13	13
水処理薬品事業	4	5
水処理装置事業	8	8

- 設備投資は、超純水供給事業での大型案件投資に加え、精密洗浄事業の投資増により、大幅に増加。
- 減価償却費は、主に超純水供給事業で減少。

2 | 2020年3月期 見通しの一部修正

業績見通しの概要

(単位：億円)		上期			通期		
		2020/3期 期初計画	2020/3期 今回見通し	期初計画比	2020/3期 期初計画	2020/3期 今回見通し	期初計画比
受	注	1,379	1,387	+ 8	2,700	2,720	+ 20
売	上	1,338	1,346	+ 8	2,780	2,800	+ 20
事	業	123	123	—	265	265	—
そ	の	32	40	+ 8	25	35	+ 10
他	の	155	163	+ 8	290	300	+ 10
収	支	156	164	+ 8	292	302	+ 10
営	業	110	116	+ 6	206	213	+ 7
利	益	97.97	103.31	+ 5.34	183.47	189.71	+ 6.24
税	引						
前	当						
期	利						
益	益						
親	会						
社	の						
所	有						
者	に						
帰	属						
す	る						
当	期						
(	四						
半	期						
)	利						
益	益						
1	株						
当	た						
り	当						
期	期						
(	四						
半	半						
期	期						
)	利						
利	益						
(	円						
)							
為	替						
レ	ー						
ー	ト						
	USD (円)	110.0	110.0		110.0	110.0	
	EUR (円)	125.0	125.0		125.0	125.0	
	CNY (円)	16.6	16.6		16.6	16.6	

- 5月に買収したアビスタ社（米国・英国）の新規連結の影響を、受注高・売上高に反映。
- 超純水供給事業用資産の売却益実績の反映と、下期における薬品事業での買収関連費用の見直しにより、その他の収支の見通しを修正。

セグメント別の見通し

(単位：億円)		上期			通期		
		2020/3期 期初計画	2020/3期 今回見通し	期初計画比	2020/3期 期初計画	2020/3期 今回見通し	期初計画比
全社	受注高	1,379	1,387	+ 8	2,700	2,720	+ 20
	売上高	1,338	1,346	+ 8	2,780	2,800	+ 20
	事業利益	123	123	—	265	265	—
	事業利益率	9.2%	9.1%		9.5%	9.5%	
	営業利益	155	163	+ 8	290	300	+ 10
水処理薬品 事業	受注高	597	605	+ 8	1,184	1,204	+ 20
	売上高	592	600	+ 8	1,181	1,201	+ 20
	事業利益	57	57	—	110	110	—
	事業利益率	9.5%	9.4%		9.3%	9.2%	
	営業利益	49	49	—	95	97	+ 2
水処理装置 事業	受注高	782	782	—	1,516	1,516	—
	売上高	746	746	—	1,599	1,599	—
	事業利益	67	67	—	155	155	—
	事業利益率	8.9%	8.9%		9.7%	9.7%	
	営業利益	107	115	+ 8	195	203	+ 8

水処理薬品事業（地域別売上高）



(単位：億円)	上期			通期		
	2020/3期 期初計画	2020/3期 今回見通し	期初計画比	2020/3期 期初計画	2020/3期 今回見通し	期初計画比
国内	236	236	－	470	470	－
海外	356	364	+ 8	711	731	+ 20
アジア	144	144	－	287	287	－
北米	96	103	+ 7	188	205	+ 17
EMEA	101	102	+ 1	206	209	+ 3
その他	15	15	－	30	30	－
合計	592	600	+ 8	1,181	1,201	+ 20



将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。